

西ノ行者堂

柱本にある西ノ行者堂では、毎年1月2日に水と半紙にミカン、柿、栢実を包み役行者の石像が祭られている西ノ行者堂に参拝する「行者まいり（無形民俗文化財）」が行われます。

参拝後、下山の際に薪を拾いながら帰宅することを仕事初めとしていました。



大阪府

ダイヤモンドトレール
奈良県香芝市の屯鶴峰から大阪府和泉市の横尾山までの金剛葛城山系の稜線を縦走する登山コース



不動山の巨石



杉尾の集落の外れにある不動山の巨石（史跡）は、明王寺から635段の階段を上りつめた先にある行場です。大きな石がたくさんあり、不動明王、金剛童子、八大龍王が祭られています。



この巨石は、役行者が葛城山から吉野・大峯へ橋を架けようと、一言主神に命じて石を集めさせた跡であるといわれています。

奈良県

東覚寺

隅田町山内にある東覚寺では、葛城修験の本尊である葛城明神と水の神である八大龍王を崇め、毎年4月末～5月上旬、屋外に護摩壇を組んで護摩木を燃やす「八大龍王・葛城明神春祭り（無形民俗文化財）」が行われます。東覚寺から葛城山系へと延びる山道は古くから修験の道でした。



葛城神社

柱本にある葛城神社は、地元で「宮ノ講」と呼ばれる団体の皆さんが運営を行なっています。

毎年大晦日の深夜に大松明を灯し、葛城神社から100mほど北へ行った場所にある滝で滝行「宮ノ講」と葛城神社年越し行事（無形民俗文化財）」が行われています。



道

文化と観光をつなげる

「葛城修験―里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」が日本遺産に登録されたことを機に、市内各所にある葛城修験ゆかりの地の認知度が高まり、市内外の皆さんが本市の歴史と文化に興味を持っていただくことを期待しています。

市では、古くから受け継がれてきた身近にある文化財の価値を再確認してもらえよう、今後は大阪府、奈良県、和歌山県や近隣の各市町村、関係団体などと連携を深め、地域の魅力や認知度の向上を図ります。また、国内だけでなく、海外に対しても積極的に情報発信していきます。

「葛城修験」のストーリーを活用し、市の主要な観光資源としてPRすることで日本遺産を目的とした誘客を促進し、地域の経済活性化を図ります。

修験者たちと地域の人々が大切に守ってきた修験の道。そして、ともに守られてきた美しい自然に触れ合い、当時の文化を楽しんでみてはいかがでしょうか。

小峯寺

小峰台にある小峯寺（建造物）は、役行者が開いたとされる修験道の行場です。境内には、役行者の母の墓と伝わる十三重の塔（右の写真）が残されています。元々は塔の峰と呼ばれる場所にありましたが、現在は行者堂の近くに移されています。

毎年3月には、秘仏である馬頭観世音菩薩の御開帳が行われています。



葛城修験ゆかりの地を巡る

今回日本遺産に登録された「葛城修験」の中から、橋本市内にある史跡や無形民俗文化財などについて紹介します。